


松山をたゞてきて
 子と之乃ほれり

相刷

巖山




輝 ちやまをる山よをり日のそ 指美
 神物よ切々乃まや 旅うらん 芳交
 揺ふふのあまもきやんやんそま 赤ん
 初年風乃吹拂 心を去るのそ 赤ん
 砂掛上鳥帆子乃廻やそつふう白 美江
 難自懐よりけあや 年始会 冷江
 月夜に浮けく言や ちり明を 共懐
 茶歳と吹上るれ ちり明を 梅守
 少くはハこれし 禮者乃也くり 子橋
 遠教とるんてん 後子耐草 支仙
 丙申と

⑦③ 新年摺